

参考資料

1. 2008年3月期 上期の取り組み
2. プロジェクト事例
3. その他

1. 2008年3月期 上期の取り組み

プロジェクトマネージャ育成

- 年間150回にわたる開発会議での案件チェックを通じて、社員の品質に対する意識を改革
- (社員だけでなく)協力会社やオフショア先の人材を育成し、真のパートナー作りを目指す

プロジェクトマネージャ

SI各社PM育成に力

意識改革や人材教育に工夫

情報サービス関連のIT（情報技術）投資が上向いている。金融を中心にシステム開発案件が豊富で、主要各社は「現状は開発プロジェクト管理をするPM（プロジェクトマネージャ）が不足している」と口をそろえる。各社とも下期に向け技術者育成などもめぐる人材育成を進め始めた。

昨年からは金融業界を中心にSI（システム構築）案件が豊富で、通信や製造、流通などもSI案件が増え始めている。SIは効率化が図られている半面、根本は人財確保になっているため、開発技術者不足は情報サービス企業にとっても商機を逃してしまおう。一方で「数年前苦しまれた赤字案件の発生は抑えたい」（SIベンダー首脳）の本音だ。

技術力で案件獲得へ
各社は技術力の高い人材を増やすことで旺盛な案件の獲得と処理に努めようとしている。特にプロジェクトマネージャの育成では、PMが不足しており、各社ともPM育成を加速させてきている。

人材の高度化を打ち出したシーイーシーはPM（プロジェクトマネージャ）の育成に力を入れ、協賛会社などの社内技術

次代のPMとなる人材を30人程度育成し教育を始めた。Nは現場の人間の両に注目。PMの成功や失敗の情報を共有し、独自の手法で標準化する「PM WIS（PM）」を作った。効果を検証してきた。

人材マップを作成
日立システムアンドサービスは資格格やプロジェクト管理などの社内技術マップに加え、人材マップの作成にも取り組む。PMの社内認定では、人材を重視し、最適なプロジェクトの配属と育成を進めている。東芝グループでは東芝情報システムが「自己批判会議」により人の問題に真に向かい立ち向かった。人材の育成だけでなく、意識の改革により、改善に向かっているという。

人材育成研究所（NRI）は技術者育成に加え、ここ2年は年間150回にわたる開発会議で案件のチェックをしたことで、社員意識を変えている。協力

会社との関係やオフショア（海外開発委託）先の人材育成を徹底し、真のパートナー作りを推進する。アイティフォーもPMの進化を始めた。これまでに十分できていなかった反省から外部から専門の人員を集め、社内でも徹底させている。

2007年9月7日 電波新聞

1. 2008年3月期 上期の取り組み -10月2日、新データセンター竣工



周辺環境を考慮し、圧迫感のないデザインを採用した新データセンター外観

正式名称: 横浜第二データセンター



金融機関を中心に、強い需要あり
すでに複数社の利用が内定



センター入口



当データセンターの誇る免震構造



厳重なセキュリティチェック設備

1. 2008年3月期 上期の取り組み - 清華大学との共同研究センター稼動



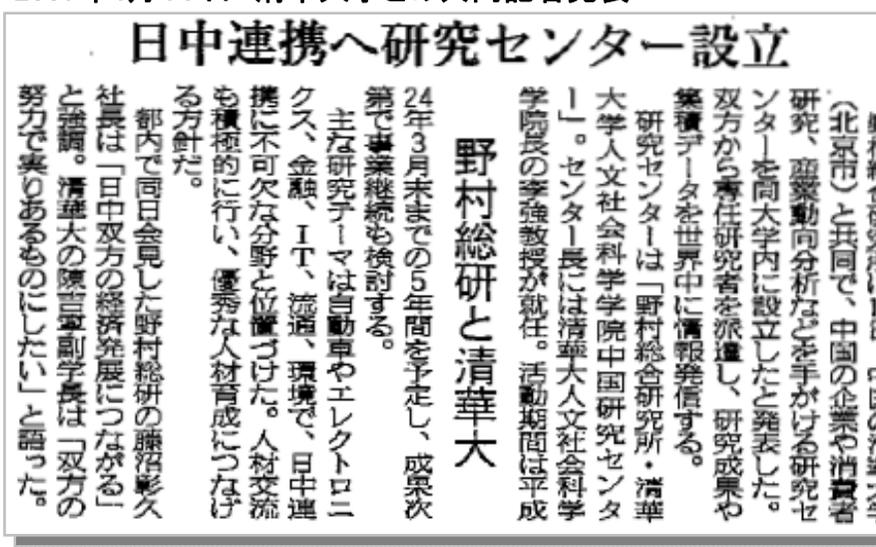
「野村総研・清華大学中国研究センター」外観



2007年4月17日 清華大学との共同記者発表



2007年10月12日 発足記念講演



2007年4月18日 産経新聞

2. プロジェクト事例



関電工

株式会社 関電工 様

基幹系システムのアウトソーシング

3. その他 - 業績補足説明資料

■ 売上高3,550億円・営業利益550億円の収支モデル

(億円)

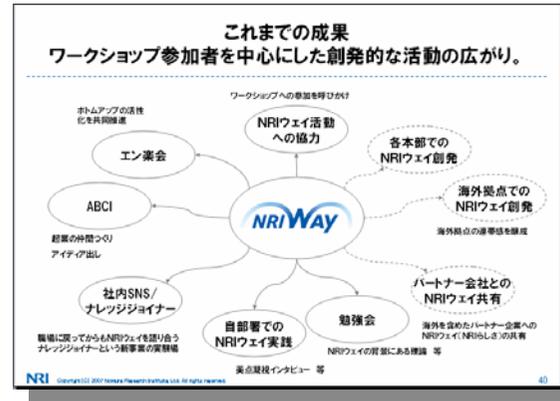
	2007年3月期 (実績)	2008年3月期 (10/25予想)注	前期比		2008年3月期 (7/25予想)注
			金額	増減率	
売上高	3,225	3,550	324	10.1%	3,500
売上原価	2,345	2,500	154	6.6%	2,490
うち労務費	501	555	53	10.7%	555
うち外注費	1,023	1,215	191	18.7%	1,175
うち減価償却費	188	155	△33	△18.0%	165
売上総利益	879	1,050	170	19.4%	1,010
粗利率	27.3%	29.6%	2.3P		28.9%
販管費	440	500	59	13.5%	490
営業利益	438	550	111	25.3%	520
営業利益率	13.6%	15.5%	1.9P		14.9%

(注) 収支モデル作成のための連結想定値

3. その他 - NRIウェイ

NRIウェイ・プロジェクト

2008年1月に合併後満20年という節目の年を迎えるにあたって、NRIがどんな強みを築き、今日の成功につなげてきたのかを整理し、大きな夢と志の実現に向けて新たなNRIグループの強みを、全社員で一緒に創っていこうという活動



ワークショップ参加者の活動の広がり



Web版社内報「NRI Wave」での啓蒙

ポジティブな出発 (美点凝視) 未来創発にむけた土台作り 未来創発のための対話・行動・学習 新たなNRIの創発



いままでの歴史から得られた強み・誇り これから創られていく未来の強み・志



全社横断的に行われるワークショップの様子

3. その他 - ブランディング活動

「プロジェクト2015」

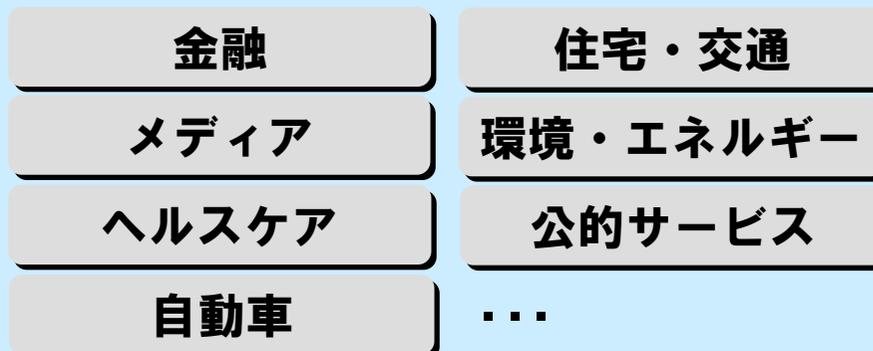
NRI独自の分析と展望に基づき、2015～2020年における生活像、社会像、産業構造を明らかにし、

2015～2020年、未来を提案します

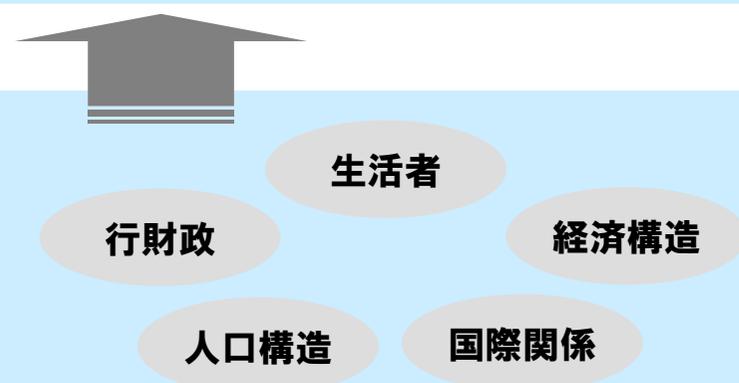


書籍（2007年12月上旬発売予定）の
表紙イメージ
（今後、予告なく変わる可能性があります）

各産業像



生活像、社会像の変化



3. その他 - ロシア等へのグローバル活動

①モスクワ大学経営管理学院と
ロシア経済についての共同研究

③ロシア（サンクトペテルブルク、
モスクワなど6都市）での
消費者動向調査を年2回継続中



2007年5月28日 日経産業新聞

②ロシアの産業競争力向上、
地域経済発展に向けて市や政府関係
機関へ提案

④民間企業に対し、ロシア展開に関する
コンサルティングサービス提供